

## 漢字検定2級(H22~H25) 四字熟語問題出題統計

四字熟語	よみ	出題回数	意味
精進潔斎	しょうじんけっさい	6	飲食を慎み、心身を清めてけがれのない平静な状態にしておくこと。
百八煩惱	ひゃくはちぼんのう	6	人間が持っている多くの迷いのこと。
冷汗三斗	れいかんさんとう	6	非常に恐ろしい目にあったり、恥ずかしい思いをすること。
英俊豪傑	えいしゅんごうけつ	5	多くの中で特にすぐれた人物。
合従連衡	がっしょうれんこう	5	その時の利害に応じて、団結したり離れたりすること。
鶏口牛後	けいこうぎゅうご	5	大きな組織に隷属するよりは小さくても人の上に立つ方がよいということ。
綱紀肅正	こうきしゅくせい	5	乱れた規律を正すこと。
秋霜烈日	しゅうそうれつじつ	5	刑罰・権威・意志などがきわめて厳しいたとえ。
主客転倒	しゅかくてんとう	5	物事の順序・立場・重要度などが逆転すること。
泰山北斗	たいざんぼくと	5	学問や芸術などある分野の第一人者。
白砂青松	はくしゃせいしょう	5	美しい海岸の景色のこと。
万緑一紅	ばんりょくいつこう	5	多くのものの中に、一つだけすぐれたものが存在すること。
忙中有閑	ぼうちゅうゆうかん	5	忙しい仕事の合い間にも、ほっと一息つくひまがあること。
和衷協同	わちゅうきょうどう	5	心と同じくしてともに力を合わせること。
安寧秩序	あんねいちつじょ	4	社会が落ち着いていて秩序立っていること。
雲水行脚	うんすいあんぎゃ	4	修行僧が諸国をめぐる、仏法を修行すること。
雲泥万里	うんでいばんり	4	比較にならないほど大きな差異のこと。
会者定離	えしゃじょうり	4	この世は無常であることのたとえ。
夏炉冬扇	かろうとうせん	4	無用なもの、役に立たないもののたとえ。⇒夏鑪冬扇
汗牛充棟	かんぎゅうじゅうとう	4	蔵書が非常に多いことのたとえ。
閑話休題	かんわきゅうだい	4	それはさておき。それまでの雑談や前置きを打ち切って、話の本題にはいるときや、脇道にそれた話を、もとに戻すときに用いる語。
金城湯池	きんじょうとうち	4	他から攻めこまれない堅固な備え。
堅忍不拔	けんになふばつ	4	意志を固く持ち、どんな困難にも耐え心を動かさないこと。
巧遅拙速	こうちせつそく	4	じょうずで遅いより、へたでも速いほうがよいの意。
孤軍奮闘	こぐんふんとう	4	支援する者がいない中で、一人で懸命に努力すること。
孤城落日	こじょうらくじつ	4	零落して昔の勢いを失い、助けもなく心細いさま。
懇切丁寧	こんせつていねい	4	ねんごろに真心から親切を尽くすこと。⇒懇到切至
西方浄土	さいほうじょうど	4	阿弥陀仏の在す極楽浄土。
志操堅固	しそうけんこ	4	主義や考えなどを堅く守って変えないこと。
枝葉末節	しようまつせつ	4	本質からはずれた些細なこと。
浅学非才	せんがくひさい	4	学識が浅く、才能も乏しいこと。
先憂後楽	せんゆうこうらく	4	先に心配事・苦痛に思うことを片付け、楽しみは後回しにすること。
泰然自若	たいぜんじじゃく	4	何か事が起こっても、落ち着きはらって少しも動じないさま。
多岐亡羊	たきぼうよう	4	方針が多すぎて選択に迷うたとえ。
昼夜兼行	ちゅうやけんこう	4	昼と夜の区別なく続けて物事を行うこと。
二律背反	にりつはいはん	4	相互に対立・矛盾する二つの命題が、同等の権利をもって主張されること。
比翼連理	ひよくれんり	4	男女の情愛が深く、仲睦まじいことのたとえ。
文人墨客	ぶんじんぼっかく	4	詩文や書画などの風雅なものにたずさわる人のこと。
放歌高吟	ほうかこうぎん	4	あたりかまわず大声で歌い吟ずること。⇒高歌放吟
無為徒食	むいとしょく	4	何もしないで、ただぶらぶらと日を過ごすこと。
唯唯諾諾	いいだくだく	3	物事のよしあしにかかわらず、なんでもはいはいと承知すること。相手の言葉に逆らわずおもねること。
意気衝天	いきしょうてん	3	このうえなく意気込みが盛んなこと。
一陽来復	いちようらいふく	3	物事が回復することのたとえ。
隱忍自重	いんにんじちょう	3	苦しみなどをじっとこらえて軽々しい行動をとらないこと。
有為転変	ういてんぺん	3	この世のすべての存在や現象は常にうつろいやまないこと。また、この世が無常ではかないことのたとえ。
円転滑脱	えんてんかつだつ	3	物事をそつなくとりしきるさま。⇒円滑洒脱
遠慮会釈	えんりょえしゃく	3	他人のことを考えて応対をつつましく控え目にする事。
温厚篤実	おんこうとくじつ	3	穏やかであたたく誠実なこと。
外柔内剛	がいじゅうないごう	3	外見は穏やかそうに見えるが、実際は意志が強いこと。

## 漢字検定2級(H22~H25) 四字熟語問題出題統計

快刀乱麻	かいとうらんま	3	こじれた物事を、手ぎわよく処理・解決すること。
換骨奪胎	かんこつだつたい	3	外形はもとのままで中身を取りかえること。また、外見は同じでも内容が違うこと。
氣宇壮大	きうそうだい	3	心構えや発想が大きくて立派なこと。
氣炎万丈	きえんばんじょう	3	他を圧倒するほど意気盛んであること。
喜色満面	きしょくまんめん	3	顔いっぱい喜びの表情があふれているようす。
吉凶禍福	きつきょうかふく	3	幸いとわざわい。
教唆煽動	きょうさせんどう	3	教えそそのかして人の心をあおりたてること。⇒教唆煽動
金科玉条	きんかぎよくじょう	3	自分の主張や立場などの絶対的なよりどころとなる教訓や信条。
群雄割拠	ぐんゆうかっきよ	3	多くの実力者が、互いに対立しあうこと。
鯨飲馬食	げいいんばしょく	3	一度にたくさん飲み食いすること。
輕挙妄動	けいきよもうどう	3	事の是非をわきまえず、軽はずみに行動すること。
月下氷人	げっかひょうじん	3	仲人。媒酌人。
厚顔無恥	こうがんむち	3	あつかましくて、恥知らずなさま。
高論卓説	こうろんたくせつ	3	すぐれた意見や議論。
吳越同舟	ごえつどうしゅう	3	仲の悪い者どうしが、同じ場所や境遇にいること。もとは、反目しあいながらも利害が一致するときには協力しあう意。
鼓舞激励	こぶげきれい	3	盛んにふるいたたせ励ますこと。
孤立無援	こりつむえん	3	ひとりぼっちで頼るものがないこと。
疾風迅雷	しっふうじんらい	3	行動がすばやく激しいさま。
衆人環視	しゅうじんかんし	3	多くの人が周りを取り囲んで見ていること。
酒池肉林	しゅちにくりん	3	ぜいたくの限りを尽くした豪華な宴会。
小心翼翼	しょうしんよくよく	3	気が小さくて、びくびくしているさま。
迅速果断	じんそくかだん	3	物事をすばやく決断し、思いきって行うこと。
森羅万象	しんらばんしょう	3	宇宙に存在するすべてのもの。
醉生夢死	すいせいむし	3	何をなすこともなく、ぼんやりと生涯を過ごすこと。
晴耕雨読	せいこううどく	3	田園で悠々自適の生活をする事。
勢力伯仲	せいりょくはくちゅう	3	互いの力が接近していて、優劣がつけにくいこと。
清廉潔白	せいれんけつぱく	3	心や行いが清く、私欲や不正などまったくないさま。
大喝一声	だいかついつせい	3	大声でどなりつけたり、しかりつけたりすること。
大願成就	たいがんじょうじゅ	3	大きな望みがかなうこと。
大言壮語	たいげんそうご	3	口では大きなことを言っても、実行がともなわないこと。
暖衣飽食	だんいほうしょく	3	物質的になんの不足もない満ち足りた生活。⇒暖衣飽食
胆大心小	たんだいしんしょう	3	大胆でしかも細心の注意を払うこと。
眺望絶佳	ちょうぼうぜっか	3	目の前に広がる風景がすばらしくよいさま。
朝令暮改	ちょうれいぼかい	3	命令や法令がすぐに変わって定まらないこと。
天衣無縫	てんいむほう	3	飾りけがなく自然であること。
東奔西走	とうほんせいそう	3	仕事や用事のため四方八方忙しく走りまわること。
読書百遍	どくしょひゃっぺん	3	むずかしい書物でも繰り返して読めば意味がわかってくる意。
怒髪衝天	どはつしょうてん	3	髪の毛が逆立つほど激しく怒ること。
内疎外親	ないそがいしん	3	外見は親しそうにしているが内心では疎んじていること。
内憂外患	ないゆうがいかん	3	内部にも外にも問題が多く、心配事が多いこと。
難攻不落	なんこうふらく	3	攻めにくく簡単には陥落しないこと。
破邪顕正	はじゃけんしょう	3	不正を打破し正義を守ること。
飛花落葉	ひからくよう	3	人の世の無常のたとえ。
奮励努力	ふんれいどりよく	3	気力を奮い起こして努め励む。
面目躍如	めんもくやくじょ	3	世間の評価にふさわしい活躍をして、いきいきとしていること。また、世間に対して顔が立つこと。
竜頭蛇尾	りょうとうだび	3	最初は盛んであるが、終わりの方になると振るわなくなる事。
理路整然	りろせいぜん	3	話や考えの筋道がよく通っていること。
悪口雑言	あくこうざうごん	2	口にまかせてさまざまに悪口を言うこと。また、その言葉。
異端邪説	いたんじゃせつ	2	正統からはずれている思想・信仰・学説。
一念発起	いちねんほつき	2	あることを成し遂げようと決意すること。

## 漢字検定2級(H22~H25) 四字熟語問題出題統計

一網打尽	いちもうだじん	2	ひとまとめに悪人を捕らえ尽くすとえ。
一騎当千	いっきとうせん	2	一人の騎馬兵で千人もの敵を相手にできる。転じて、一人で千人を敵にできるほど実力のあること。
一子相伝	いっしそうでん	2	学問・技芸などの奥義を直系の子供一人にのみ伝えて他人にはもらさないこと。
延命息災	えんめいそくさい	2	命を延ばして災いを取り去ること。
歌舞音曲	かぶおんきょく	2	歌や踊りや音楽のこと。また、そのような華やかな遊芸のこと。
禍福得喪	かふくとくそう	2	わざわいにあったり、幸いにあったり、成功して出世したり、位を失ったりすること。
勸善懲悪	かんぜんちょうあく	2	善行を奨励して、悪行を懲らしめ、悪い行いをしないようにしむけること。
危急存亡	ききゅうそんぼう	2	危険が迫っていて、生きるか死ぬかの瀬戸際のこと。
興味津津	きょうみしんしん	2	非常に関心があること。
虚虚实実	きょきょじつじつ	2	互いに策略を尽くして必死に戦うこと。また、うそとまことをおりませで互いに腹を読みあうこと。
謹厳実直	きんげんじつちよく	2	きわめてつつしみ深く誠実で正直なこと。
軽薄短小	けいはくたんしょう	2	うすっぺらで中身のないさま。
巧言令色	こうげんれいしよく	2	愛想のよいことをいったり、顔色をつくらって、人に媚びへつらうこと。
誇大妄想	こだいもうそう	2	自分の現状を実際以上に想像して事実のように思いこむこと。
困苦欠乏	こんくけつぼう	2	生活するのに必要な物の不足で苦しむこと。
山紫水明	さんしすいめい	2	自然の景観が清らかで美しいこと。
詩歌管弦	しかかんげん	2	文学と音楽のこと。
自縄自縛	じじょうじばく	2	自分の心がけや言動によって、動きがとれなくなり苦しむこと。
質実剛健	しつじつごうけん	2	飾りけがなくまじめで、心身ともに強くたくましいこと。
失望落胆	しつぼうらくたん	2	希望を失い、非常にがっかりすること。
自暴自棄	じぼうじき	2	すてばちで、やけくそになる。
終始一貫	しゅうしいっかん	2	始めから終わりまで言動や態度が変わらないこと。
周知徹底	しゅうちてつてい	2	世間一般、広くすみずみまで知れわたるようにすること。
襲名披露	しゅうめいひろう	2	親または師匠の名前を継いだことを公表すること。
春宵一刻	しゅんしょういつこく	2	春の夜は何よりも趣深く、その一刻はなにものにもかえがたい価値があるということ。
情状酌量	じょうじょうしゃくりょう	2	犯罪の諸事情を酌み量って刑罰を軽くすること。
正真正銘	しょうしんしょうめい	2	まったくそ偽りがなく、本物であること。
初志貫徹	しょしかんてつ	2	初めに思い立った志を、最後まで貫き通すこと。
支離滅裂	しりめつれつ	2	ばらばらで筋道が立っていないこと。
深山幽谷	しんざんゆうこく	2	人が踏み入っていない、奥深く静かな自然のこと。
進取果敢	しんしゅかかん	2	物事に積極的に取り組み、決断力に富んでいること。
心頭滅却	しんとうめつきゃく	2	心の中の雑念を取り去ること。
千紫万紅	せんしばんこう	2	色とりどりの花が咲き乱れているさま。⇒千紅万紫
前代未聞	ぜんだいみもん	2	今まで聞いたことがないような変わったこと。
粗製濫造	そせいらんぞう	2	質の悪い品をやたらに多くつくること。
率先垂範	そっせんすいはん	2	人に先立って模範を示すこと。
大慈大悲	だいじだいひ	2	限りなく大きい仏の慈悲。
朝三暮四	ちょうさんぼし	2	目先の違いにこだわり、事柄の本質を理解しないこと。
当意即妙	とういそくみょう	2	機転をきかせて、その場にあった対応をすること。
当代随一	とうだいずいいち	2	この時代の中では第一番である、同時代に存在する他の何にも勝っている、などの意味の表現。
南船北馬	なんせんほくば	2	あちこち広く旅行すること。
博覧強記	はくらんきょうき	2	広く書物を読んで、物事をよく記憶していること。見聞が広く、かつよく記憶していること。⇒博聞強記
馬耳東風	ばじとうふう	2	人の意見や批評を心にとめず聞き流すこと。また、何を言っても反応がないこと。
表裏一体	ひょうりいつたい	2	二つのものが表と裏のように密接な関係にあること。また、相反する二つのものが一つになること。
複雑多岐	ふくざつたき	2	物事が多方面に分かれ、しかも入り組んでいること。
普遍妥当	ふへんだとう	2	どんな場合にも真理として承認されること。
不偏不党	ふへんふとう	2	かたよることなく公平中立の立場に立つこと。
附和雷同	ふわらいどう	2	自分の主義主張がなく、他人の言動に軽々しく同調すること。
粉骨碎身	ふんこつさいしん	2	全力を尽くして努力すること。また、骨身惜しまず働くこと。
妙計奇策	みょうけいきさく	2	人の意表をついた奇抜ですぐれたはかりごと。

## 漢字検定2級(H22~H25) 四字熟語問題出題統計

明鏡止水	めいきょうしすい	2	邪念がなくすっきりと澄みきった心境。
面従腹背	めんじゅうふくはい	2	表面だけ服従するふりをして内心は反抗していること。
優勝劣敗	ゆうしょうれっばい	2	まさっている者が勝ち、劣っている者が負けること。
要害堅固	ようがいけんご	2	備えのかたいこと。
粒粒辛苦	りゅうりゅうしんく	2	こつこつと努力や苦勞を重ねること。
良風美俗	りょうふうびぞく	2	良く美しい風俗習慣。
和魂漢才	わこんかんさい	2	日本固有の精神を持ちながら、中国伝来の学問の才もそなえもつこと。
遺憾千万	いかんせんばん	1	非常に残念なこと。
意気阻喪	いきそそう	1	意気込みがくじけ弱り、元気を失うこと。⇒意気沮喪
医食同源	いしょくどうげん	1	日常の食事に注意することが、病氣予防の最善の策であるということ。
一日千秋	いちじつせんしゅう	1	大変待ち遠しいことのたとえ。
一所懸命	いっしょけんめい	1	真剣にものごとに打ちこむこと。
一朝一夕	いっしょういっせき	1	ほんのわずかな期間。非常に短い時間のたとえ。
榮枯盛衰	えいこせいすい	1	人や家などの榮えることと衰えること。
佳人薄命	かじんはくめい	1	美人はとかく命が短い。美人はとかく薄幸である。
花鳥風月	かちょうふうげつ	1	自然の風景・風物。自然の美しさのたとえ。
活殺自在	かつさつじざい	1	他を自分の思うとおりに扱うこと。
緩急自在	かんきゅうじざい	1	速度などを遅くしたり早くしたりして、思うままに操ること。
玩物喪志	がんぶつそうし	1	無用なものに熱中して、本業がおろそかになること。
空空漠漠	くうくうばくばく	1	果てしもなく広いさま。また、非常にぼんやりしたさま。
空中樓閣	くうちゅうのろうかく	1	根拠のないこと、現実性に欠けることのたとえ。
荒唐無稽	こうとうむけい	1	言説に根拠がなく、現実性に欠けること。でたらめ。
公明正大	こうめいせいだい	1	公正で私心がなく、やましいところがないこと。
故事来歴	こじらいれき	1	物事の由来や歴史。また、物事がそういう結果になった理由やいきさつ。
刻苦勉励	こくくべんれい	1	非常に苦勞して、ひたすら仕事や勉学に励むこと。
斬新奇抜	ざんしんきばつ	1	物事の着想が独特で、これまでにない新しさを兼ね備えていること。
時期尚早	じきしょうそう	1	ある事を行うには、まだ時期が早すぎる。
試行錯誤	しこうさくご	1	試みと失敗をくりかえしながら適切な方法を見つけること。
四分五裂	しぶんごれつ	1	ばらばらに分裂すること。
遮二無二	しゃにむに	1	がむしゃらに。
熟読玩味	じゆくどくがんみ	1	文章の意味をじっくり考えて読み味わうこと。
熟慮断行	じゆくりょだんこう	1	よくよく考えたうえで、思いきって実行すること。
春日遅遅	しゅんじつちち	1	春の日は長く、のどかなさま。
順風満帆	じゅんぷうまんぱん	1	物事がすべて順調に進んでいるさま。
盛者必衰	じょうしゃひつすい	1	勢いの盛んな者はいつか必ず衰えること。
生者必滅	しょうじゃひつめつ	1	生きているものは必ず死ぬこと。
針小棒大	しんしょうぼうだい	1	物事を実際より大げさにいう。
生殺与奪	せいさつよだつ	1	他のものを自分の思うままに支配すること。
生生流転	せいせいりてん	1	万物が絶えず生じては変化し、移り変わってゆくこと。
責任転嫁	せきにんてんか	1	責任を他になすりつけること。
殺生禁断	せつしょうきんだん	1	鳥・獣・魚などを捕ったり殺したりすることを禁ずること。
是非曲直	ぜひきよくちよく	1	物事の善悪・正不正のこと。
断崖絶壁	だんがいぜつぺき	1	険しく切り立ったがけ。
中途半端	ちゅうとはんぱ	1	物事がきちんとかたづかないこと。
天涯孤独	てんがいこどく	1	身寄りがなくひとりぼっちであること。
同工異曲	どうこういきよく	1	外見は異なるが、内容は似たり寄ったりであること。
拍手喝采	はくしゅかつさい	1	手をたたいて、おおいにほめたたえること。
拔山盖世	ぱつざんがいせい	1	非常に威勢が強いこと。また、気性が勇猛盛んなこと。
眉目秀丽	びもくしゅうれい	1	顔かたちが美しくととのっていること。
百鬼夜行	ひゃっきやこう	1	多くの悪人がのさばりはびこるたとえ。

## 漢字検定2級(H22~H25) 四字熟語問題出題統計

不朽不滅	ふきゅうふめつ	1	いつまでもほろびないこと。
片言隻語	へんげんせきご	1	わずかな言葉。ほんのひと言ふた言。⇒片言隻句
傍若無人	ぼうじゃくぶじん	1	人前にもかかわらず、勝手に無遠慮な振る舞いをする事。⇒旁若無人
免許皆伝	めんきょかいでん	1	極意を伝授すること。
面目一新	めんもくいっしん	1	今までとは違う高い評価を得ること。また、今までとは外見や内容がすっかり変わる事。
勇猛果敢	ゆうもうかかん	1	勇ましくて強く、決断力に富むこと。
容姿端麗	ようしたんれい	1	姿かたちの美しいこと。
離合集散	りごうしゅうさん	1	離れたり集まったりすること。また、協力したり反目したりすること。
理非曲直	りひきよくちよく	1	道理にかなったことと道理にかなわないこと。また、正しいことと間違っていること。
流言蜚語	りゅうげんひご	1	確かな根拠のないいいかげんなうわさ。⇒流言蜚語
靈魂不滅	れいこんふめつ	1	人間の魂は肉体の死後も存在しているという考え方。
論功行賞	ろんこうこうしょう	1	功績の有無や大きさの程度を調べ、それに応じてふさわしい賞を与えること。